

平成24年行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	日本赤十字社救護業務費等補助金	担当部局庁	社会・援護局			作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	昭和53年度	担当課室	総務課			古都 賢一	
会計区分	一般会計	施策名	VII-2-1 地域社会のセーフティネット機能を強化し、地域の要援護者の福祉の向上を図ること				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	—	関係する計画・通知等	日本赤十字社救護業務費等補助金交付要綱				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	非常災害及び武力攻撃事態等における救護活動等の円滑な実施を図る。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	(1)旧日本赤十字社救護看護婦等慰労給付金支給事務費 旧日本赤十字社救護看護婦慰労給付金支給事務及び旧陸海軍従軍看護婦慰労給付金支給事務に必要な人件費等 (2)日本赤十字社救護員養成事業費 非常災害時における医療救護活動等に必要な知識・技術の習得のため、実習及び講習を行う						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
	予算の状況	当初予算	156	95	41	41	39
		補正予算					
		繰越し等					
		計	156	95	41	41	39
		執行額	139	71	41		
	執行率 (%)	89%	75%	100%			
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)
	戦時衛生勤務に服した旧日本赤十字社従軍看護婦等に対する慰労給付金支給事務及び非常災害時における医療救護活動等に備えた研修事業という事業内容に鑑み、これらの数値を成果目標とすることは適切でない。	成果実績		—	—	—	—
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	(1)旧日本赤十字社救護看護婦慰労給付金支給事務費 受給者数:957人(H23実績) (2)日本赤十字社救護員養成事業費 研修受講人数:894人(H23実績)	活動実績 (当初見込み)		(1) 1131 (2) 1262 —	(1) 1038 (2) 1052 ((1) 1060 (2) 1237)	(1) 957 (2) 894 ((1) 977 (2) 1197)	— ()
単位当たりコスト	戦時衛生勤務に服した旧日本赤十字社従軍看護婦等に対する慰労給付金支給事務及び非常災害時における医療救護活動等に備えた研修事業という事業内容に鑑み、これらの数値を単位あたりコストで設定することは適切でない。	算出根拠	—				
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由			
	補助金	41	39				
	計	41	39				

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	とりわけ非常災害時における医療救護活動等に備えた研修事業については、広く国民のニーズがあり優先度が高い。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	戦時衛生勤務に服した旧日本赤十字社従軍看護婦等に対する慰労給付金支給事務及び非常災害時における医療救護活動等に備えた研修事業に対し支出されるものという事業内容に鑑み、国が実施すべき事業である。
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	22年度については、東日本大震災の影響により予定していた事業の一部が実行できなかったため。
資金の流れ、費目・使途	—	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	—	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	日本赤十字社の負担は、慰労給付金支給事務は10/10、研修事業は1/2であり、負担関係は妥当である。
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	費目・使途は事業実施に必要なものに限定されている。
活動実績、成果実績	—	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	—	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	活動実績は概ね見込み通りである。
	—	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	
	—	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>本補助金は、戦時衛生勤務に服した旧日本赤十字社従軍看護婦等に対する慰労給付金支給事務及び非常災害時における医療救護活動等に備えた研修事業に対し支出されるものである。慰労給付金支給事務は戦時衛生勤務に服した者へ慰労給付金を支給するために必要な事業であり、また、研修事業も非常災害時における医療救護活動に備えて不可欠なものである。</p> <p>また、事業費の支出内容も適切である。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	<p>・本経費については、平成23年度予算において大幅な見直しを行っており、事業の必要性からの評価としても、概ね妥当であることから、引き続き効率的な執行に努めること</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
現状通り	—		
補記（過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	442	平成23年行政事業レビュー	384

※平成23年度実績を記入

厚生労働省
41百万円

日本赤十字社が行う
(1)旧日本赤十字社救護看護婦等に対する慰労給付金支給事務
(2)日本赤十字社救護員養成事業に必要な補助金を交付



【補助】

A 日本赤十字社
41百万円

※金額は、交付決定額を記入
(平成23年度実績が未確定のため)

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位:百万円)

A.(日本赤十字社)			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
人件費	旧日本赤十字社救護看護婦等に対する慰労給付金支給事務	23			
その他	災害救護訓練の開催経費	18			
計		41	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	日本赤十字社	旧日本赤十字社従軍看護婦等に対する慰労給付金支給事務及び非常災害時における医療救護活動等に備えた研修事業	41		—
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					